

平成23年3月4日

応用生命化学研究センター 第2回公開シンポジウム

「生命を化学の視点から探究する」

香川大学農学部では、2009年に応用生命化学研究センターが新設され、生物分子化学領域のケミカルバイオロジー研究および生命機能科学領域のバイオケミストリー研究が進展中です。今回、第2回の公開シンポジウムを下記の日程で開催します。基調講演に京都大学大学院の入江一浩氏をお招きし、アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドβタンパクに関する講演をしていただきます。また、当研究センターの教員4名が最新の研究成果について講演を行います。参加費は無料ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日時 平成23年3月14日 午後1時15分～4時45分
2. 会場 香川大学農学部 BW106(三木町農学部キャンパス)
3. 内容 基調講演

「アミロイドβタンパクの毒性コンホメーションの同定と薬剤開発」

入江 一浩 京都大学大学院農学研究科教授

講演

「プロテインキナーゼ検出用ツールの開発と生命科学研究への応用」

亀下 勇 香川大学農学部教授

「希少糖脂肪酸エステル生物活性」

川浪 康弘 香川大学農学部教授

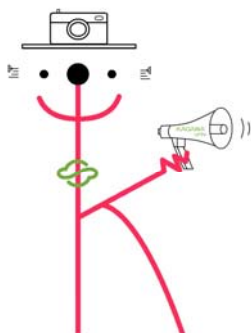
「ゴマの二次代謝産物と生合成」

古本 敏夫 香川大学農学部准教授

「膜タンパク質の細胞内トラフィックによる鉄代謝制御」

田淵 光昭 香川大学農学部准教授

4. 参加費 無料
5. 主催 香川大学農学部 応用生命化学研究センター



➤ 問い合わせ先

香川大学農学部 庶務係長 藤沢 教子 TEL 087-891-3008

香川大学農学部 教授 川浪 康弘 TEL 087-891-3088

FAX : 087-891-3021

E-mail : kawanami@ag.kagawa-u.ac.jp

第2回公開シンポジウム

生命を化学の視点から探究する

Chemical biology Biochemistry



と き 平成23年3月14日(月) 午後1時15分~4時45分
ところ 香川大学農学部 BW106
参加費 無料

● 基 調 講 演

「アミロイドβタンパクの毒性コンホメーションの同定と薬剤開発」

入江 一浩 京都大学大学院農学研究科教授

● 研 究 報 告

「プロテインキナーゼ検出用ツールの開発と生命科学研究への応用」

亀下 勇 香川大学農学部教授

「希少糖脂肪酸エステル of 生物活性」

川浪 康弘 香川大学農学部教授

「ゴマの二次代謝産物と生合成」

古本 敏夫 香川大学農学部准教授

「膜タンパク質の細胞内トラフィックによる鉄代謝制御」

田淵 光昭 香川大学農学部准教授

● 司 会 片山 健至 香川大学農学部教授

主 催：香川大学農学部 応用生命化学研究センター

問い合わせ先 香川大学農学部 機能分子化学研究室

TEL : 087-891-3088 FAX 087-891-3021